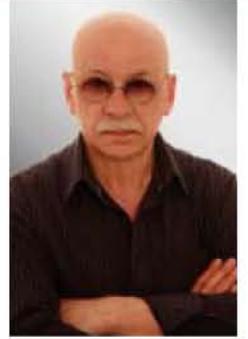


ロシア、モスクワ生まれ。1967年国立マールイ劇場附属シェーブキン演劇大学俳優科卒業後、ボルゴグラード、リベック、スオレンスクの劇場で俳優として活動。1977年ルナチャルスキー記念舞台芸術国立大学(現在のロシア舞台芸術アカデミー)演出科、M.O. クネーベリのクラスを卒業。モスクワの国立ソヴレメンニク劇場の他、ラトヴィア共和国リガ市の青少年劇場、モスクワ「現代ドラマ学校」、オムスク第5劇場、カザン市のカチャーロフ記念カザン・ポリショイ劇場、ペトロザヴォツク市のペトロザヴォツク・ナショナル劇場などを経て、1996年～1998年オストロフスキー記念モスクワ州立ドラマ劇場の首席演出家となる。現在はロシア舞台芸術アカデミー演出科(モスクワ唯一の演出学科)の助教授に加え、ラジオ、テレビなどのシナリオ執筆、そして2011年からはロシア国立ソヴレメンニク劇場専属として演出している。恩師であるM.O. クネーベリは、数少ないスタニスラフスキー直系の指導者として多くの才人を育てた今や伝説的な演出家。現代のロシア演劇界を牽引する人材の多くがその弟子たちである。



進行 >> 兵庫県立ピッコロ劇団 島守辰明

大学在学中より演劇を学び、アメリカのメソッド演技を学ぶ傍ら、テレビ、映画、舞台などで俳優として活動。自らチェーホフ作品で演じたことをきっかけにロシア演劇に興味を持ち、2003年から2006年まで三年余りを文化庁在外研修員として、ロシア、モスクワ国立アカデミー・マールイ劇場にて研修。劇場総芸術監督で人民俳優のユーリー・ソローミン氏指導のもとで、劇場、及び劇場付属の国立シェーブキン演劇大学にて演出、ロシア俳優教育について学ぶ。帰国後の2006年4月より、兵庫県立ピッコロ劇団の文芸演出部に在籍。劇団での演出・俳優活動と同時に、2009年よりピッコロ演劇学校研究科の主任講師を務めている。日本演出者協会会員。



舞台『三人姉妹』
(モスクワ・国立ソヴレメンニク劇場)より

チェーホフの『三人姉妹』

『かもめ』『ワーニャ伯父さん』『桜の園』と並ぶ、チェーホフ四大戯曲の一つ『三人姉妹』。1991年にモスクワ芸術座で上演され好評を博した。日本ではかつて新劇を中心に上演されてきたが、時代を追うごとに様々な形式での上演が増えている。演出家、劇作家を始めとして、チェーホフ作品、特に『三人姉妹』は様々な日本の演劇人を刺激し続けている。

スタニスラフスキー・システム

モスクワ芸術座を率いたスタニスラフスキーによって提唱された演技理論。イギリス、フランスを始めとして、20世紀の世界演劇界に衝撃を与えた。アメリカでは「メソッド」として、マーロン・ブランド、ポール・ニューマンなどの名優を輩出したアクターズ・スタジオなどが有名。ロシアでは、現在もさらなる進化を続けている。

ワークショップについて

- 今回のワークショップは団体でご参加ください。演出家一人と俳優二人(男女一人ずつ、または男性二人)を1チームとして申し込んでいただき、お申し込み、ご入金と引き換えに各チームの演出家には人数分の原作チェーホフ作『三人姉妹』(安達紀子訳・群像社刊)と課題を送付致します。
- 各団体で課題のシーンをワークショップまでに事前に稽古していただき、ワークショップ初日に見せていただきます。
- 全日程参加が基本です。

〈お申込み方法〉

・各団体ごとに、「ワークショップ参加希望」参加者各人の氏名、電話番号、メールアドレス、代表(演出)の方の住所(人数分の戯曲を郵送致します)を明記の上、下記日本演出者協会関西ブロック「ロシア特集係」宛てへメールにてお申し込み下さい。

〈お申込み・お問い合わせ〉日本演出者協会関西ブロック

メール: kansaiblock@yahoo.co.jp

☎080-4025-2202 「ロシア特集係」(担当: 井之上)

〈申込締切〉2012年8月10日(金)

国際演劇交流セミナーとは

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と演劇交流をかさね、1999年からは文化庁による本格助成の下、通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、及び劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施致します。